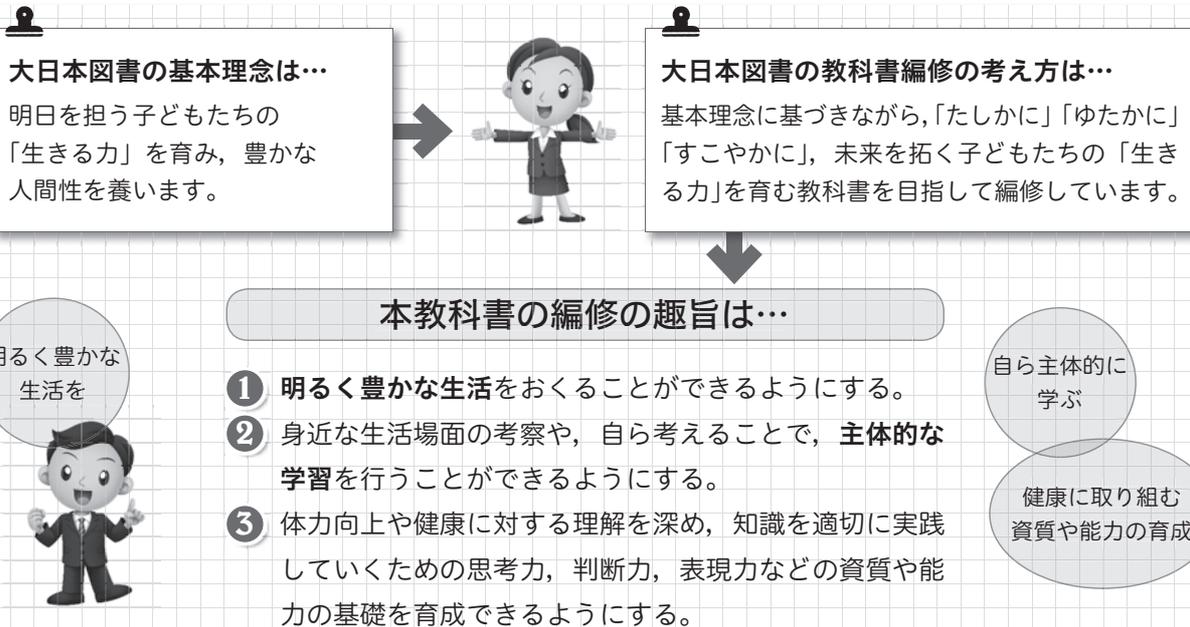


# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-73	中学校	保健体育	保健体育	1～3年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
4・大日本	保体・726	新版 中学校保健体育		

## 1. 編修の趣旨及び留意点



### はじめに

本教科書は、21世紀を主体性と創造性に満ちた社会とする上で、今後一層その必要性が叫ばれている「生きる力」を習得するための保健体育教科書として編修されています。

本教科書では、さらにその「生きる力」を「健やかにかつ賢明に生きる力」と展開的に解釈し、心身の能力を発達させ、かつこれからの社会を賢明に多くの人々と協働して生きていくことができる力を育成することを特に具体的な目標に定めています。

編修にあたっては、保健体育科の基本的な目標である「明るく豊かな生活を営む態度を育てる」ことを達成するための身体的能力やコミュニケーション能力、論理的思考、環境の調整能力を形成することを期して教材の系統化と内容化を図っています。加えて、すべての項目について、まず自己の学習課題から出発し、必要な知識や技能を課題解決型学習によって習得し、自ずと生活に実践化できるような構成になるように工夫しました。本教科書を、「自ら学ぶ力と、実践力の育成につながる教科書」として、基礎・基本を実践化することによって学ぶ力をより豊かにするとともに、学ぶ力を身につけることによって実生活への実践化をより具体的なものにすることを重点的なねらいとして編修を行いました。

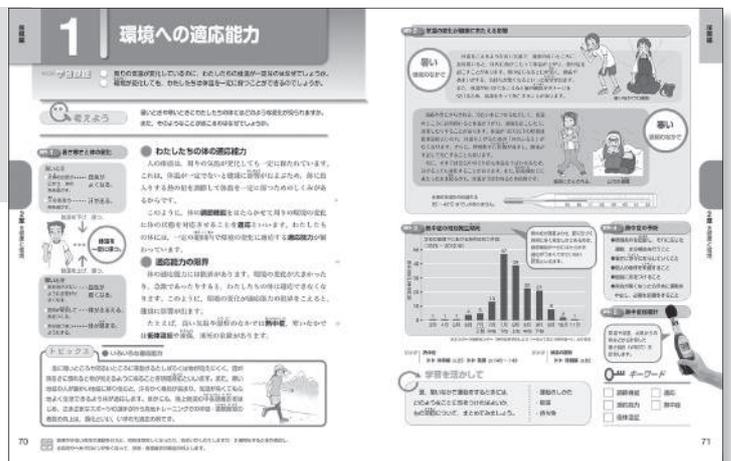
## 具体的な留意点

- ① 内容の大分類となる各章の冒頭に「この章で学習すること」という簡潔な学習内容の構造図を提示することで、生徒自らがその章の課題を認識して以後の学習内容について大まかな見通しをつけることができるようにし、自ら学ぶ意欲を高めるように工夫しました。
- ② 各小単元の冒頭では、「今日の学習課題」を設置し、当該小単元で学習すべき内容を課題文形式で簡潔に提示して、課題を確実に認識できるように工夫しました。
- ③ 各小単元での冒頭の学習活動として、資料や身近な事例を通して既習の知識を活用しながら解決を試みることができる活動課題 **考えよう** を設定し、以後に学習すべき内容を予見したり、推論したりすることを通して、学習へのスムーズな導入が図られるように工夫しました。
- ④ 学習内容を提示する本文では、学習指導要領解説に準拠しながら具体的な知識とともに、提示した種々の資料を通じて本文の内容に関してより深い思考や表現が可能になるように工夫しました。
- ⑤ 各小単元において習得すべき基本用語については、本文中で強調表記をするとともに **キーワード** として示すことで定着を図れるようにしました。また、各章末の「学習のまとめ」において「重要な言葉」として簡潔な説明文とともに改めてまとめることで、生徒が自学自習できるようにしました。
- ⑥ 各小単元末に設定した **学習を活かして** では、小単元での学習内容を活用するための具体的な作業課題を示し、実生活において活用・応用することができるように工夫しました。
- ⑦ 学習を行う上で参考となる知識を **トピックス** として提供し、生徒の興味・関心に応じた学習を展開できるように工夫しました。
- ⑧ 各小単元の脚注欄に「ミニ知識」を設置し、学習内容をさらに深く理解するために有用な知識を提示しました。
- ⑨ 各小単元の中でさらに一歩進んで知識を深められるように関連資料を **章末資料** として章末にまとめることで、より幅広い知識を習得できるようにしました。
- ⑩ より高い実践力を養うことを目的として、生活上の課題解決や応用を図るために役立つ様々な課題や知識を提示する **発展** を設けました。

表紙



課題解決型学習  
によって  
「生きる力」が  
身につく



## 2. 編修の基本方針

教育基本法第2条に示された教育の目標を達成するため、編修の基本方針を次の通りとしました。

<p><b>第1号</b></p> <p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。</p>	<p>○幅広い知識と教養を身につけるために</p> <p>「今日の学習課題」から「学習を活かして」までの課題解決型学習によって、自ずと保健及び体育に関する知識を身につけることができるようにする。</p> <p>○豊かな情操と道徳心を培うために</p> <p>運動やスポーツを行うことによる心身や社会性の発達への効果、思春期の心の発達とその健康のあり方に十分な内容を用意し、情意機能の発達について触れ、豊かな情操を育むように配慮し、欲求の充足が合理的になされるように理解させる。</p> <p>○健やかな身体を養うために</p> <p>本教科書のすべてを通じて、生涯にわたって健康を保持増進するための知識や技能を育むことができる構成とする。</p>
<p><b>第2号</b></p> <p>個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。</p>	<p>○個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養うために</p> <p>意欲や意志を育て感情をコントロールすることの大切さや、発育・発達には個人差があること、他人の立場を踏まえた個人の価値観を身につける重要性を理解させ、どのような自己像をつくりあげるかを主体的に考えることができるようにする。</p> <p>○職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うために</p> <p>個人の価値と生活習慣との関係が理解できるようにし、運動やスポーツ、保健医療に携わる人々の仕事の内容について理解を深めることができるようにする。</p>
<p><b>第3号</b></p> <p>正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>○正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるために</p> <p>障がいのある人たちを支援するスポーツボランティア活動などが大切であることの理解を深めさせる。また、社会性について、話し合いを通じて様々な人と楽しむための工夫をし、協力や協調ができる人間関係を築けるようにする。さらに、異性に対する理解と尊重を取り上げ、男女の平等と協力についての理解を深めるようにし、社会性の形成の観点から自他の敬愛について思考できるようにする。</p> <p>○公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために</p> <p>環境保全や公衆衛生活動について学習することを通じて、健康な社会に主体的に参画するための公共的な視点を身につけることができるように工夫する。</p>
<p><b>第4号</b></p> <p>生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>○生命を尊ぶ態度を養うために</p> <p>運動やスポーツを安全に行うための体調管理や、運動中に発生した傷害や事故への対処などについても身につけ、安全な運動の行い方を理解できるようにする。</p> <p>人間の生殖の仕組みを取り上げ、体の成熟と生命の誕生を時系列で理解できるようにするとともに、これから生まれてくる命を尊ぶ心を育むようにする。</p> <p>交通事故や自然災害による傷害の防止に努め、応急手当の意義と方法、疾病の予防について理解させ、かけがえのない自他の生命を尊重できるようにする。</p> <p>○自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うために</p> <p>環境汚染についての理解と対策のあり方を知ることにより、環境を保全する態度を養えるようにする。</p>
<p><b>第5号</b></p> <p>伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>○伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するために</p> <p>日本の伝統的な健康思想である養生論を、受け継ぐべき健康づくりの思想として取り上げるとともに、国際社会で活躍する日本人の活動を取り上げる。</p> <p>○他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために</p> <p>運動やスポーツの移り変わり、技術や戦術の変遷を取り上げ、ルーツやルールの変更の歴史を学ぶことでその国の文化に触れることができるようにする。</p> <p>オリンピックや国際的なスポーツ大会が国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解させることで、自らの国や文化を愛することと同様に他国の文化や国際社会を尊重する意識を形成するようにする。</p>

### 3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
各小单元における「今日の学習課題、考えよう、本文・資料、学習を活かして」の「課題解決型学習」の流れ	自らの生活を振り返ることから課題に気付き、学習し理解したことを生活に活かせるようにした。特に、小单元ごと「今日の学習課題」を明示し、学習内容を解説する本文と豊富な資料により理解したことを生活に活かせるようにした。(第1号)	● p.4-5, 20-21, 34-35, 46-47, 70-71, 86-87, 110-111 などの各小单元
キーワード、学習のまとめ	知識の定着を図るため、各小单元においてキーワードで学習内容の振り返りをし、各章末では重要語句や要点の再確認ができるようにした。(第1号)	●「キーワード」の例：p.5, 7 などの各小单元 ●「学習のまとめ」：p.18, 32, 42, 68, 84, 108, 146-147
資料、章末資料	出典の明らかな最新の資料を小单元や章末、編末に多数掲載し、学習内容を理解しやすく深められるようにした。(第1号)	●「資料」の例：p.5, 21, 38-39, 90-91, 96-99 などの各小单元 ●「章末資料」：p.10-17, 26-31, 66-67, 82-83, 144-145 ●編末「発展」：p.43-44, 148-149
トピックス、ミニ知識	幅広い知識と教養を身につけるため、生徒の興味・関心を高める話題や読み物を「トピックス」として、生徒の理解がより深まる学習に関連した情報を「ミニ知識」として、精選して掲載した。(第1号)	●「トピックス」の例：p.22, 23, 25, 34, 36, 37, 41, 51, 55, 57 など ●「ミニ知識」の例：p.5, 7, 8, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 34, 35, 36, 37, 40, 46 などの各小单元
「考えよう」「学習を活かして」	自らの生活を振り返りながら学習し、学習したことを生活に活かせるようにすることで、個人の価値を尊重し自律の精神を養いながらも多くの人とのかかわりの中で生活していることを実感できるようにした。(第2号)	●「考えよう」の例：p.4, 6, 20, 22, 34, 56, 58, 62 などの各小单元 ●「学習を活かして」の例：p.5, 21, 23, 25, 55, 57, 59, 65 などの各小单元
口絵、本文各小单元の写真・イラスト	アスリートや中学生がスポーツで活躍している場面や、中学校生活の親しみのもてる場面の写真を掲載し、健やかな身体を養うことができるようにした。また、生活に密着したイラストを掲載することで豊かな情操と道徳心を育めるようにした。(第1号)	●口絵の写真・イラスト：口絵 1-12 ●各小单元の写真・イラスト：p.6-7, 8-9, 36-37, 38-39, 40-41, 86-87, 92-93, 94-95 など
正義と責任に関する記述	運動やスポーツの大会やイベントの会場係や審判、障がいのある人たちのスポーツ活動などを支援するスポーツボランティア活動などが大切であることや、異性に対し理解、尊重し、責任ある行動をとる必要があることなどを理解できるようにした。(第3号)	● p.6-7, 40-41, 55
男女の平等、自他の敬愛に関する記述	心身の発達と心の健康では、異性に対する理解と尊重、社会性や自己形成の発達を取り上げ、男女の平等と自他の敬愛についての理解が深まるようにした。(第3号)	● p.50-65
生命を尊ぶ記述	生命を尊ぶことについては、すべての内容が関係しているが、特に体育編の「運動やスポーツが心身の発達にあたえる効果と安全」では健やかな身体を養うことが大切であることを理解できるようにした。保健編では「生命を生み出す体への成熟」で体の成熟と生命の誕生を時系列で理解できるようにした。(第4号)	● p.20-21, 22-23, 24-25, 50-53 など

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
環境の保全に関する記述	出典の明らかな資料を用い、分かりやすい図表や写真で示すことで、自然を大切に、環境を保全する態度を育めるようにした。(第4号)	● p.78-79, 80-81, 82-83
日本文化や伝統に関する写真・イラスト	日本の和食文化や伝統を感じられる武道、踊り、また養生論などの写真やイラストを紹介した。(第5号)	● 口絵 4, 5, p.17, 40, 42, 65, 109, 110, 120
国際社会の平和と発展に寄与する態度を示す資料	運動やスポーツが世界平和に果たす役割が大きいことを示す写真や資料を紹介。また、国際社会で活躍する日本人を紹介した。(第5号)	● 口絵 1, 2, p.17, 37, 38-39, 41, 42, 44, 57, 143

#### 4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教育基本法第5条に示された義務教育の目的を実現するため、学校教育法第21条にてらし、上記の記載事項の他に以下のことに配慮して編修を行いました。

- ① 学校教育法第21条「第4号」における「家庭と家庭の役割, 生活に必要な衣, 食, 住, 情報, 産業その他の事項について基礎的な理解と技能を養うこと」に関連して、以下の内容を記載しました。

- 家族と家庭の役割
  - ・男女の理解と尊重 (p.55)
  - ・ストレスへの対処 (p.63)
  - ・心と体の健康 (p.65)
- 食について
  - ・わたしたちの健康を支える食事 (口絵 5, 6)
  - ・肥満の予防効果 (p.21)
  - ・食生活と健康 (p.112-113)
  - ・生活習慣の変化と生活習慣病 (p.118-119)
  - ・生活習慣病の予防 (p.120-121)
- 衣, 住について
  - ・環境への適応能力 (p.70-71)
  - ・快適な温熱条件と明るさ (p.72-73)
  - ・空気の汚れと換気 (p.74-75)

- ② 同条「第8条」における「健康, 安全で幸福な生活のために必要な習慣を養うとともに, 運動を通じて体力を養い, 心身の調和的発達を図ること」に関連して、以下の内容を記載しました。

- 心身の調和的発達について
  - ・運動やスポーツが体にあたえる効果 (p.20-21)
  - ・運動やスポーツが心にあたえる効果 (p.22-23)
  - ・運動と健康 (p.114-115)

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-73	中学校	保健体育	保健体育	1～3年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
4・大日本	保体・726	新版 中学校保健体育		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

[1] 学習指導要領の総則に示された方針を実現するために

	総 則	特 色
① 生きる力を育む	○基礎的・基本的な知識・技能の習得	自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身につけられる内容にしました。
	○思考力、判断力、表現力その他の能力を育む	資料や身近な事例を通して思考する  を設定し、以後に学習すべき内容を予見したり、推論したりすることを通して、学習へのスムーズな導入、能力の育成が図れるようにしました。
	○主体的に学習に取り組む態度を養う、個性を生かす教育の充実	具体的な知識とともに、実習を提示し、活動を通して実践力が身につくようにしました。
	○家庭との連携、学習習慣の確立	自らの生活を振り返ることから学習に取り組むように構成し、学習した知識や技能を実生活において活用・応用することができるように配慮しました。
② 道徳教育	○人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を生活の中に活かす	運動やスポーツの意義を豊富な資料や写真で提示し、人々を結びつける文化的なはたらきがあることを理解できるようにしました。また、中学生期が生命を生み出す体へと成熟しつつあるということを写真やイラストで理解を深められるようにし、自他の生命を大切にする気持ちを育む学習を深められるようにしました。
	○伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛す	武道の成り立ち、栄養素のバランスのよい和食の写真やイラスト、貝原益軒の「養生訓」などを紹介し、伝統・文化の尊重と郷土への愛の育成に配慮しました。
	○民主的な社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に貢献	国際的なスポーツ大会の写真やエピソードを多数掲載し、また、国際的な環境問題の提示、医療、健康教育に携わる人々の紹介をすることで、国際的な視野をもつとともに社会の発展に寄与する態度を養えるようにしました。
	○環境の保全に貢献	河川の浄化作用などの事例写真や、ごみの減量、循環型社会、地球温暖化などを取り上げ、環境保全に対する意識を高められるようにしました。
	○職場体験活動	自立して自分らしい生き方を目指すなかで、保健体育科に関連する職業を紹介し職場体験活動につながる興味・関心を高められるようにしました。
	○自他の生命の尊重、主体的に社会の形成に参画	運動やスポーツについての学習や、保健学習のなかで人とのかかわり合いを通して自他の生命を尊重する精神を養うとともに、主体的に社会の形成に参画していこうとする精神の基礎を培うようにしました。

総 則		特 色
③ 体力の向上・健康の保持増進	○安全に関する指導	安全に活動するためのポイントを  注意 で示し、一目で分かるようにしました。また、交通安全・防犯への意識、自然災害に対する日頃の備えや応急手当について分かりやすく図式化し、実践力の育成につながるように配慮しました。
	○生涯を通じて健康・安全で活力ある生活	明るい雰囲気イラストや写真を多用することで、健康なライフスタイルを確立しようとする意欲や態度を育てることができるようになりました。
	○食育の推進	全体を通し食事の重要性を示すとともに、健康を支える食事について特設ページを設け、食事の大切さについて興味・関心を高め、毎日の生活の中で実践できるようにしました。

## [ 2 ] 保健体育科の目標達成のために

① 心と体を一体としてとらえ、運動や安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てられるようにしました。		
目的意識をもった活動	●健康の大切さを認識して、健康的なライフスタイルを確立しようという意欲をもてるようにしました。	各小単元の 今日の  学習課題 p.4, 6, 8 など
主体的な取り組み	●自らの生活を振り返ることから学習を始めることで、学習課題を自らのこととしてとらえられるようにしました。	各小単元の「考えよう」 p.4, 6, 8 など
学んだことを活用する	●各小単元の「学習を活かして」で学習したことを整理し、理解を定着させ、自分の生活に活かせるようにしました。	各小単元の  学習を活かして p.5, 7, 9 など
保健体育科における「言語活動」の充実	●導入、まとめの活動のほかにも、危険な行動をさけるための明確な断り方を自ら考えることで、コミュニケーションスキルを養えるようにしました。	各小単元の「考えよう」、 「学習を活かして」、 p.129
② 健康の保持増進のための実践力の育成を図り、明るく豊かな生活を営む態度を養えるようにしました。		
振り返りをていねいに	●各小単元の最後に「キーワード」として、本文中の重要語句を示すことで知識の定着が図られるようにしました。	各小単元の  キーワード
基礎・基本の確認を徹底	●学習内容を本文で明確に解説し、豊富な資料で補足することで理解を促し、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身につけられるようにしました。	各小単元
まとめのページを充実	●各章の章末にある「学習のまとめ」では、〈重要な言葉〉と〈学習の要点〉で章全体を振り返り、知識・理解の総まとめをできるようにしました。	各章
③ 楽しく学び、学んだことが日常生活に役立っていることが分かるようにしました。		
楽しく学ぶ	●身近な生活の振り返りから始まる「考えよう」で興味・関心を高めて学習を進められるようにしました。	各単元の  考えよう
生活に役立っている	●生活に役立つ活動を示し、必要なところには安全に行うための「注意」ロゴをつけて注意を促すようにしました。	 注意 p.28-29, 101 など
運動やスポーツの歴史が分かる	●運動やスポーツの移り変わりや、エピソードを示すことで運動やスポーツへの理解を深められるようにしました。	p.10-11, 16-17, 23, 43-44 など

職業と関連している	●将来、自分のつきたい職業に触れ、本当の自分を知り自分を活かす道を見つけることで、 <b>社会の中で自立し自分らしく生きることができるように</b> しました。	口絵 9, p.67 など
○上記の他に、すべての生徒の学習の便宜を図るために次のような配慮をしました。		
色覚特性への配慮	●色覚の違いによって学習に支障が出ないように、 <b>色遣いに配慮</b> し、誰にでも分かりやすい紙面にしました。	
特別支援教育への配慮	●専門家の監修により、 <b>特別支援教育への配慮</b> をしています。 ●読みやすくするために、「今日の学習課題」や吹き出し、「学習を活かして」は <b>文節での改行</b> をするようにしました。 また、本文の振り仮名には、見やすく読みまちがえにくい <b>ユニバーサルデザインフォント</b> を採用しました。	
安全への配慮	●けがを防止するために、それぞれの活動の中に目立つ「 <b>注意</b> 」マークを入れました。	 p.28-29, 89, 105, 107, 117 など
発展的な学習内容	●運動やスポーツ、健康に対する素養を身につけ、さらに学習を深められるよう、 <b>発展的な学習内容を充実</b> させました。	 p.43-44, 148-149 など
印刷・造本	●環境に配慮した紙と植物油インキを使用し、表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工を施すなど、環境や健康、堅牢性に配慮しました。 ●見開き学習がしやすく、3年間の使用に耐えられるようアジロ綴じの堅牢な製本にしました。	
さらにちょっとひと工夫	●難しい用語には脚注をつけて説明文を記載しました。 ●学習するページがすぐに開けるように <b>小口にインデックス</b> をつけました。 ●インターネット検索がしやすいように「 <b>web リンク</b> 」を示しました。	p.47, 48, 62 など   p.29, 99



## 教科書の構成

本教科書は学習指導要領の目標を達成するための課題解決、探究形式の資料豊富な教科書です。

### 各単元

章扉	●各章扉の写真と案内文からその章全体の課題をとらえます。
小単元名	●各小単元の内容を体言止めで分かりやすく示しています。
今日の <b>学習課題</b>	●小単元名の下には、学習を通して解決したい学習課題を示しています。この課題に対する答えをもてるようになることが、ここでの学習目標です。
 <b>考えよう</b>	●学習の初めに、身の回りのこと、自分や友達の経験、小学校の既習内容、教科書の資料から考えられる活動を示しています。

本文・資料	学習内容を明確に解説している本文と、本文の内容を理解するため参考となる資料です。
 <b>キーワード</b>	学習のポイントとなる重要な言葉です。
 <b>学習を活かして</b>	学習したことを整理し、理解を定着させ自分の生活に活かすための活動を示しています。
<b>トピックス</b>	学習内容と関連が深い話題や読み物を紹介しています。
<b>リンク</b> ▶▶	関連した内容を学習するページを示しています。
 <b>ミニ知識</b>	学習に関連した情報を、ミニ知識として紹介しています。
<b>章末</b>	
 <b>章末資料</b>	その章での学習を理解するために参考となる資料です。
 <b>学習のまとめ</b>	各章末にその章で学習した「重要な言葉」と「学習の要点」をまとめています。
<b>編末</b>	
<b>発展的な学習</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 体育編・保健編の編末に発展的な学習が示されています。これは中学校保健体育で学習するように決められたこと以外の内容が示されています。さらに学習を深めたい場合に取り組めるようにしています。</li> </ul>

## 2. 対照表

### 教科書の構成と学習指導要領との対応

学習指導要領に合わせて体育編・保健編の順番で配列しました。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所 ページ	配当時数	単元の特徴
<b>体育編</b>				
<b>1. 運動やスポーツの多様性</b>	体育分野2H1(1)	3～18	(3)	領域や種目に応じた特有の学び方があるということを理解できるようにし、目標設定の道筋を分かりやすく示し、実践できる内容としています。
①運動やスポーツの必要性和楽しさ	体育分野2H1(1)ア	4～5	1	
②運動やスポーツの多様なかわり方	体育分野2H1(1)イ	6～7	1	
③運動やスポーツの学び方	体育分野2H1(1)ウ	8～9	1	
<b>2. 運動やスポーツが心身の発達にあたる効果と安全</b>	体育分野2H2(2)	19～32	(3)	運動やスポーツの意義や効果、安全に行う必要性やその方法について解説し、保健領域との関連もおさえつつ、理解できるようにしています。
①運動やスポーツが体にあたる効果	体育分野2H2(2)ア	20～21	1	
②運動やスポーツが心にあたる効果	体育分野2H2(2)ア、イ	22～23	1	
③安全な運動やスポーツの行い方	体育分野2H2(2)ウ	24～25	1	
<b>3. 文化としてのスポーツの意義</b>	体育分野2H3(1)	33～42	(3)	スポーツの文化としての重要性を人々のかかわり合いの中から理解し、国際親善や世界平和へ果たす役割を理解できるように、工夫しています。
①現代生活におけるスポーツの文化的意義	体育分野2H3(1)ア	34～35	1	
②国際的なスポーツ大会の文化的な役割	体育分野2H3(1)イ	36～39	1	
③人々を結びつけるスポーツの文化的なはたらき	体育分野2H3(1)ウ	40～41	1	
		合計	9	(標準時数：9時間)

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所 ページ	配当時数	単元の特徴
保健編				
<b>1. 心身の発達と心の健康</b>	保健分野2(1)	45～68	(10～11)	思春期における心身の機能の成熟と個人差を理解し、体と心がどのようにかわっているかを事例を通して対処行動を考えたり話し合ったりさせるなど、自己の課題の欲求や実践化の視点にもとづいて学習成果の活用を図れるように工夫しています。
①体の発育・発達	保健分野2(1)ア	46～47	1	
②呼吸器官・循環器官の発育・発達	保健分野2(1)ア	48～49	1	
③生命を生み出す体への成熟	保健分野2(1)イ	50～53	2	
④思春期の心の変化への対応	保健分野2(1)イ	54～55	1	
⑤考える心・感動する心の発達	保健分野2(1)ウ	56～57	1～2	
⑥人とのかかわりと自分らしさ	保健分野2(1)ウ	58～59	1	
⑦欲求への対処	保健分野2(1)エ	60～61	1	
⑧ストレスへの対処	保健分野2(1)エ	62～63	1	
⑨心と体のかかわり	保健分野2(1)エ	64～65	1	
<b>2. 健康と環境</b>	保健分野2(2)	69～84	(6～9)	環境への適応を理解し、その知識をもとに快適な環境を維持するための環境の調節と衛生管理の方法、廃棄物の衛生管理の仕方など地域の廃棄物の処理状況を調べる課題をたて、自らが地域の状況に関心をもてるようにしています。
①環境への適応能力	保健分野2(2)ア	70～71	1	
②快適な温熱条件と明るさ	保健分野2(2)ア	72～73	1～2	
③空気の汚れと換気	保健分野2(2)イ	74～75	1～2	
④水の役割と飲料水の条件	保健分野2(2)イ	76～77	1～2	
⑤生活にともなう廃棄物の処理	保健分野2(2)ウ	78～79	1	
⑥環境問題への取り組み	保健分野2(2)ウ	80～81	1	
<b>3. 傷害の防止</b>	保健分野2(3)	85～108	(8～10)	視覚的な資料を多用して災害の発生状況や応急手当の手順が理解しやすいように工夫し、日常生活において実践化できるような具体的技能を多く提示するようにしています。
①傷害の発生要因と防止	保健分野2(3)ア	86～87	1	
②交通事故の要因と傷害の防止	保健分野2(3)ア, イ	88～91	1	
③犯罪被害の防止	保健分野2(3)ア, イ	92～93	1	
④自然災害による傷害の防止	保健分野2(3)ウ	94～99	1	
⑤応急手当の基本	保健分野2(3)エ	100～101	1	
⑥心肺蘇生	保健分野2(3)エ	102～103	1～2	
⑦出血があるときの応急手当	保健分野2(3)エ	104～105	1	
⑧外傷の応急手当	保健分野2(3)エ	106～107	1～2	
<b>4. 健康な生活と病気の予防</b>	保健分野2(4)	109～147	(17～18)	個人が自らの生活において健康への努力に主体的に取り組めるよう、実践課題を多く設定しています。特に青少年の危険行動を未然に防止するためのライフスキルを実際に体験できるように構成しています。また、救急車の利用や医薬品の使用について実践的な内容を盛り込んでいます。
①健康の成り立ち	保健分野2(4)ア	110～111	1	
②食生活と健康	保健分野2(4)イ	112～113	1～2	
③運動と健康	保健分野2(4)イ	114～115	1	
④休養・睡眠と健康	保健分野2(4)イ	116～117	1	
⑤生活習慣の変化と生活習慣病	保健分野2(4)イ	118～119	1	
⑥生活習慣病の予防	保健分野2(4)イ	120～121	1	
⑦喫煙と健康	保健分野2(4)ウ	122～123	1	
⑧飲酒と健康	保健分野2(4)ウ	124～125	1	
⑨薬物乱用と健康	保健分野2(4)ウ	126～127	1	
⑩喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ	保健分野2(4)ウ	128～129	1	
⑪感染症の原因	保健分野2(4)エ	130～131	1	
⑫感染症の予防	保健分野2(4)エ	132～133	1	
⑬性感染症とその予防	保健分野2(4)エ	134～135	1	
⑭エイズとその予防	保健分野2(4)エ	136～137	1	
⑮地域での保健・医療の取り組み	保健分野2(4)オ	138～139	1	
⑯医薬品の有効利用	保健分野2(4)オ	140～141	1	
⑰個人の健康を守る社会の取り組み	保健分野2(4)カ	142～143	1	

合計 41～48 (標準時数：48時間)

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-73	中学校	保健体育	保健体育	1～3年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
4・大日本	保体・726	新版 中学校保健体育		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項
30	筋肉の性質と 運動能力	1	<p>&lt;体育分野&gt;2内容 H 体育理論 2 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全</p> <p>(2) 運動やスポーツの意義や効果などについて理解できるようにする。</p> <p>ア 運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果が期待できること。</p>
31	筋肉には 余力がある!?	1	<p>&lt;体育分野&gt;2内容 H 体育理論 2 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全</p> <p>(2) 運動やスポーツの意義や効果などについて理解できるようにする。</p> <p>ア 運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果が期待できること。</p>
31	マイトレーニングを つくろう!	1	<p>&lt;体育分野&gt;2内容 H 体育理論 2 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全</p> <p>(2) 運動やスポーツの意義や効果などについて理解できるようにする。</p> <p>ア 運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果が期待できること。</p>
37	オリンピックの シンボル	1	<p>&lt;体育分野&gt;2内容 H 体育理論 3 文化としてのスポーツの意義</p> <p>(1) 文化としてのスポーツの意義について理解できるようにする。</p> <p>イ オリンピックや国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること。</p>
43	人類はどこまで速く 走ることができる のだろうか	1	<p>&lt;体育分野&gt;2内容 H 体育理論 1 運動やスポーツの多様性</p> <p>(1) 運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。</p> <p>イ 運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えることなどの多様なかかわり方があること。</p>
44	語りつがれる オリンピック エピソード	1	<p>&lt;体育分野&gt;2内容 H 体育理論 3 文化としてのスポーツの意義</p> <p>(1) 文化としてのスポーツの意義について理解できるようにする。</p> <p>イ オリンピックや国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること。</p> <p>ウ スポーツは、民族や国、人種や性、障害の違いなどを超えて人々を結び付けていること。</p>

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項
66	脳と神経	1	<p>&lt;保健分野&gt;2内容 (1) 心身の機能の発達と心の健康  (1) 心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。  ア 身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時期やその程度には、個人差があること。  エ 精神と身体は、相互に影響を与え、かかわっていること。  欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があること。</p>
67	自分らしさを発揮する	1	<p>&lt;保健分野&gt;2内容 (1) 心身の機能の発達と心の健康  (1) 心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。  ウ 知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達すること。また、思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成がなされること。</p>
82	体温の調節	1	<p>&lt;保健分野&gt;2内容 (2) 健康と環境  (2) 健康と環境について理解できるようにする。  ア 身体には、環境に対してある程度まで適応能力があること。身体の適応能力を超えた環境は、健康に影響を及ぼすことがあること。また、快適で能率のよい生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があること。</p>
82	循環型社会の実現に向けて	1	<p>&lt;保健分野&gt;2内容 (2) 健康と環境  (2) 健康と環境について理解できるようにする。  ウ 人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があること。</p>
83	地球規模の環境問題 -地球温暖化-	1	<p>&lt;保健分野&gt;2内容 (2) 健康と環境  (2) 健康と環境について理解できるようにする。  ウ 人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があること。</p>
93	携帯電話と犯罪	1	<p>&lt;保健分野&gt;2内容 (3) 傷害の防止  (3) 傷害の防止について理解を深めることができるようにする。  イ 交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できること。</p>
110	ヘルスプロモーション	1	<p>&lt;保健分野&gt;2内容 (4) 健康な生活と疾病の予防  (4) 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。</p>
148～ 149	熱中症への対応と予防	1	<p>&lt;保健分野&gt;2内容 (3) 傷害の防止  (3) 傷害の防止について理解を深めることができるようにする。  エ 応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができること。また、応急手当には、心肺蘇生等があること。</p>
149	クオリティ・オブ・ライフ (QOL)	1	<p>&lt;保健分野&gt;1目標  個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p>

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 13)

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容